

モニターレポート(11月報告)

【報告内容①】

今年は鮭の遡上が悪く、いつもの漁ができないという声を聞きました。海水温が異常に高いとのことですが、これも温暖化が影響しているのかと思うと心配になります。

〈事務所からのコメント〉

鮭はこの季節になると、阿賀野川をはじめ、日本海側では福岡県から北海道までの河川で遡上が見られます。また、太平洋側では、関東地方から北海道までの河川で見られます。海水温の上昇により鮭の遡上が少ないのでは、とのことでしたが、阿賀野川河川事務所では、鮭の遡上数などの把握は行っておりませんので、漁協などからの漁獲量の発表を見守ることになると思います。

【報告内容②】

阿賀野川左岸の堤防上を車で巡回中にいつも感じておりましたが、特に11月後半の阿賀野川の雄大な景色は、他では観ることのできない風景と感じました。地元の小学校の校歌の一節に阿賀野川と飯豊山のことが謡われています。その風景が、川の水面に、遠い飯豊の山並みの初冠雪を反映し、また、水鳥の浮遊する姿が目に入り、つい、車の中で懐かしい校歌を口ずさんでおりました。

〈事務所からのコメント〉

本格的な冬が到来いたしました、阿賀野川から見える飯豊連山は、真っ白に輝いています。飯豊連山の最高峰である大日岳は、ひときわ大きく見えます。阿賀野川と飯豊山が校歌の歌詞の中で謡われていることは初めて知りました。地元を流れる大河である阿賀野川、雄大な風景である飯豊山が歌詞の中で歌い継がれてきたことは、素晴らしいことだと感じております。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

早出川と阿賀野川の合流点近くの川で、大根をたくさん洗っている人が2～3人いました。これから冬に向けて大根を干したり、保存するためなのでしょう。川が汚れてしまうのは残念ですが、天気が良かったので、洗う人にとっては良かったのかもしれません。

〈事務所からのコメント〉

一般的に、河川内で土や汚物等、河川の流水を汚濁する恐れのあるものが付着した物を洗うことは禁止されております。

農業や漁業を営むために通常行われる行為は、自由使用と見なされ、許可を受ける必要はありません。大根を洗うこともこの範囲と思われます。

【報告内容④】

川面は静かで、このままの状態が続いてくれたらなと思う、心落ち着く日でした。珍しく鳥の姿は一羽も見ることができませんでした。鳥かと思ってよく見ると、ナイロン袋が木に引っかかっているところが何カ所もありました。

河川敷では野菜の収穫作業をされている方たちを多く見ました。横越の河川敷では、幅の広い畝が新しく作られており、来年の春にはチューリップや水仙の花が咲き、通行する人々を楽しませてくれるという、希望になる風景でした。

〈事務所からのコメント〉

天気予報に雪マークが見られるようになってきました。冬将軍の到来ですね。阿賀野川や周囲の水田にも、白鳥の姿を見かけるようになりました。

ナイロン袋が木に引っかかっている所が何カ所もあったとのご報告ですが、もし、高い所に引っかかっているのを見られたのであれば、昨年の新潟・福島豪雨の痕跡、または強風で飛んできたものでしょうか。

※複数のモニター報告を要約してあります。